

19財工第129号  
平成19年7月11日

各拠点病院 病院長 殿

財団法人エイズ予防財団  
理事長 島尾忠男  
(公印省略)

「エイズ予防・ケア研修会（入門編）」への参加者募集について（依頼）

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。当財団の活動に対しましては、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では厚生労働省からの委託を受け、標記研修会を開催いたします。

つきましては、公務ご多忙のところ恐縮に存じますが、別添募集要項をご高覧の上、関係者への研修会の周知していただきますようお願い申し上げます。

なお、申し込みにつきましては、受講希望者より直接当財団にご連絡頂ければ幸いです。申し込み多数の場合は、厚生労働省との協議により選考させていただきますことをご了承下さいますようお願い申し上げます。

記

研修会名 「エイズ予防・ケア研修会（入門編）」  
開催日 平成19年9月29日（土）・30日（日）  
開催会場 国立病院機構仙台医療センター  
宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-8-8

以上

なお、募集要項は、当財団ホームページ（<http://www.jfap.or.jp>）およびエイズ予防情報ネット（<http://api-net.jfap.or.jp>）上にも公開いたしますのでご利用下さい。

財団法人エイズ予防財団 担当：矢永・池田 電話 03-5259-1811 FAX 03-5259-1812
--

# 平成 19 年度予防・ケア入門研修会 募集要項

本研修は、財団研修の中で最初に受講してもらいたい入門編と位置づけており、「検査・相談研修（基礎編）（応用編）」や「ケア応用編」「NGO 指導者研修」の前になるべく受講することを推奨します

## 1. 研修の目的：

エイズ予防啓発教育や HIV 感染者・家族の医療や地域支援に今後関わる予定の担当者、あるいは関わり始めた担当者を対象に、HIV についてこれまでの経緯から現在の課題、今後の方向性と一連の流れを検討することで日本におけるエイズ問題への理解を深める機会を提供することを目的としています。

また、従来、HIV の課題が「予防」と「ケア」に分断されて取り上げられているため、各領域の関係者が一同に集って HIV の取り組みについて検討する場は限られています。今回、予防とケアの両方の課題と取り組みを一つの場で扱うことで、双方の関係者が互いの考えや状況を具体的に知り、今後の活動の計画や実施に反映できる機会になるようなプログラムを作成しました。プログラムの各項目の目的は下記に説明しています。様々な職種の人達の交流やネットワーク作りも目指します。

今回は国立病院機構仙台医療センターのご協力を得て、初めて仙台で開催します。

予防・ケア入門研修は、8 月にも東京で開催予定ですが、本研修では、「地方の取り組み」をサブテーマに、①地方における HIV の課題 ②地方（仙台規模の地方都市）ならではの取り組みの特徴（課題や今後）にも焦点を合わせていければと考えています。

2. 日 程：平成 19 年 9 月 29 日（土）・30 日（日）

3. 研修場所：国立病院機構仙台医療センター 大会議室  
（仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 8-8）

4. プログラムの内容（内容等は変更することがあります。）

### 【1 日目・土曜日】

9：10～ 9：40	受付
9：40～10：00	開会 挨拶 オリエンテーション
10：00～11：00	講義「HIV 医療の取り組みを振り返って」
11：00～12：30	シンポジウム「HIV 陽性者のこれまで・今・そして今後」
12：30～14：00	昼休み
14：00～16：20	トピックス コミュニティ・保健行政・医療での取り組みの現状と課題 ～それぞれの分野で、何を考え、何を目指して取り組んでいるか～
16：20～17：00	トピックスを受けて：質疑応答
17：30～19：00	情報交換会

【2日目・日曜日】

9:00~11:30	分科会<前半> A-① ; B-①; C-① 選択制
11:30~13:00	昼休み
13:00~15:30	分科会<後半> A-② ; B-②; C-② 選択制
15:30~16:00	休憩
16:00~16:30	全体のまとめ
16:30~16:45	修了式 挨拶

5. プログラム各項目の目的

- ◆ 講義：長年 HIV 医療に従事してきた医師より、HIV 医療や HIV 陽性者を取り巻く状況について当初の時点から今日に至るまでの変遷を説明してもらい、HIV 医療の今を長期的な視点で捉える。
- ◆ シンポジウム：数名の HIV 陽性者に、陽性判明後に何を考え、どのような課題にぶつかり、またそれを解決してきたかなどを率直に語ってもらい、受講生一人ひとりに、このテーマについての考えを深めてもらう。
- ◆ トピックス：コミュニティ、保健行政、医療の分野における HIV の現状と課題や、各分野の「今」取り組みについて報告や問題提議を行なう。また、分野を越えての今後の繋がりの可能性についても検討する。このトピックスを聴くことで、受講生は自分の専門領域とは異なる分野で何が起きているかを理解するきっかけを得る。
- ◆ 分科会：予防・ケアの具体的な取り組みについて、幾つかの話題を中心に、担当者から活動の報告や問題提議を行ない、受講生は担当者との質疑応答などを通し、参加した分科会の話題について理解を深める。

6. 分科会について：各分科会の説明と選択方法

<分科会の項目>

	《午前》	《午後》
Aグループ【若者・女性へのアプローチ】	①若者の課題とそのアプローチ	②女性・CSW（コマーシャル・セックスワーカー）の課題とアプローチ
Bグループ【職場とコミュニティ】	①職場とエイズ企業の取り組み	②NGO と行政の連携の試み：MSM（男性同性間）対策を中心に
Cグループ【ケア・サポート】	①中高年、高齢者の課題 介護支援の現状と課題	②外国人の現状と支援

<各分科会で取り上げる内容>

A-① 若者の課題とアプローチ

- ・若者や行政による普及啓発活動の紹介と検討

A-② 女性・CSW（コマーシャル・セックスワーカー）の課題とアプローチ

- ・CSW を対象として普及啓発活動の紹介
- ・女性と HIV に関する課題の検討

B-① 職場とエイズ；企業の取り組み

- ・職場の HIV 陽性者の受け入れの現状
- ・企業の取り組みの現状と今後

B-② NGO と行政の連携の試み：MSM（男性同性間）対策を中心に

- ・連携の試みの実践報告や留意点についての検討

C-① 中高年・高齢者の課題；介護支援の現状と課題

- ・予防と医療現場における中高年・高齢者の課題
- ・地域における介護の実際とその検討

C-② 外国人の現状と支援

- ・外国人を取り巻く保健・医療の現状
- ・外国人が医療現場に来たとき：その課題と検討

<分科会の選択について>

A～C グループ分科会から、午前、午後それぞれに第一希望、第二希望を決める  
その希望について、申請書に、第一希望は (1)、第二希望は (2) と記入する。

(注)

午前と午後、別々のグループから選択できます。例えば、午前中は、A-①、午後は B-③など。

※人数調整のためご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承下さい

6. 募集対象：現在、HIV の予防・啓発教育や予防介入や、HIV 陽性者の医療や地域支援に関わっている・あるいは関わり始める予定の行政担当者、クリニックや医療機関の関係者、心理福祉介護職、教育関係者や HIV 活動に関っている学生、企業の担当者や衛生管理者、NGO、国際協力の関係者、マスコミ・出版関係者等
7. 募集人員：約 70 名
8. 主な講師：HIV 感染症の予防介入活動や医療、支援に関わる実践者・専門家等
9. 申込み方法：（これまでの推薦機関の推薦順位制度は取りやめます）
  - (1) 申込みは別紙「申込書」に参加者氏名等必要事項を記入の上、直接、エイズ予防財団へ提出ください。
  - (2) 宿泊はこちらで用意しませんので、各自手配願います。
  - (3) 昼食は研修施設周辺にて、各自でお取りください。
10. 募集締切日：平成19年7月31日（火）  
※申し込みは、郵送、あるいはファックスでお願いします。
11. 受講者決定通知：選考の結果については、受講決定者に平成19年8月下旬までに郵送で、詳細なプログラムと共に通知致します。研修生決定後の研修生変更は原則として認めません。

12. 参加経費：一人あたりの参加経費は次の通りです。

受講料	・・・	無 料
資料代（消費税込）	・・・	¥5,000
情報交換会	・・・	¥1,500

13. 問合せおよび申込書送付先：

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-3-12

財団法人 エイズ予防財団 「エイズ予防・ケア入門編」研修 係

担当：矢永・池田

電 話 03-5259-1811

F A X 03-5259-1812

(参考) エイズ予防財団ホームページ

①<http://www.jfap.or.jp/>

②<http://api-net.jfap.or.jp/>

③<http://api-net.jfap.or.jp/i/> (携帯電話用)

# 参加申込書

申込日:平成 19 年 月 日

参加希望研修会	「予防・ケア（入門編）研修会【仙台】
---------	--------------------

※氏名は修了証書の氏名としますので、正確に楷書で記入して下さい。

氏 名	ふ り が な	年 齢
		歳
職種:該当する職種を○で囲んで下さい。 医師・保健師・看護師・検査技師・薬剤師・心理職・福祉職・介護職・NGO・教育関係者・企業関係者・マスコミ、出版・国際協力学生 その他 ( )		
* 楷書で記入して下さい。研修会資料の名簿に掲載します。 名簿にご住所等の掲載を希望しない場合は下記※へ☑願います。お名前と勤務先は記載させていただきます。 [勤務先名]および[所属部署名・係名]		
[勤務先の住所(または連絡先)] ※名簿に住所・電話番号等連絡先掲載を希望しない ☐		
〒	—	送付先及び電話・FAXがご自宅の場合は☑願います ※自宅 ☐
電話: — — FAX: — — メールアドレス(0とo、ハイフンとアンダーバーの区別を明確に)		

【アンケート】グループ分けやプログラム内容の参考にします。

①	・現職の経験年数 ・エイズ予防啓発やケア活動の経験年数	・( )年 ・( )年
②	(1)エイズの予防・ケア活動にあなたはこれまでどのように関わってきましたか？(具体的に) (2)関わった中で何か困ったことはありましたか？(具体的に)	(1)..... (2).....
③	今後、エイズの予防・ケア活動にあなたはどのように関わっていく予定ですか？(具体的に)	.....
④	過去の研修受講経験について	年 主催者 名称 年 主催者 名称 年 主催者 名称
⑤	今回の研修会で特に取り上げてほしい内容や要望などがありましたら、お書きください。	.....
⑥	この研修会をどこでお知りになりましたか？	職場 知り合いから 財団 HP その他( )

※分科会(午前・午後共に、第一希望は(1)・第二希望は(2)と記入してください) ※記入例参照

	午前		午後	※	【記入例】	午前	【記入例】	午後
A—①		A—②			A—①	(1)	A—②	
B—①		B—②			B—①	(2)	B—②	(1)
C—①		C—②			C—①		C—②	(2)

【受講希望の動機】